

久勝小学校  
「学力向上実行プラン」

研究主題  
自ら考え判断し、よく聴き、向上心をもって取り組み、行動する児童の育成

①「聴く力」の育成  
②よく考え、主体的に学習する力を伸ばす板書・ノート指導の充実

学力向上推進員  
田中ひろみ

委員  
校長 小林 秀樹  
教務 日岡 健二  
低学年 枝澤 申代  
高学年 田中ひろみ

教頭 石丸秀樹  
中学年 美馬美和子

校長  
小林 秀樹



(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 漢字の読み書きや整数の四則計算等については、ある程度の定着が見られる。	①授業中のきまりを守り、話をしっかり聴くことができる。 ②課題に進んで取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。	①学習や生活のきまりを守る。(児童アンケート80%以上) ②全国調査・ステップアップテストで平均正答率が県平均以上			
課題 基礎的・基本的な内容が身につけていない児童もあり、学力に個人差がある。語彙数が少なく問題を読み取る力や文章を書く力に課題がある。	①板書・ノート指導を充実させ、言語環境を整える。 ②音読・漢字・計算などの繰り返し指導と確認テストを継続的に実施する。	①一週間毎に児童全員のノート点検 ②確認テストで正答率80%未満の児童に個別に関わる。		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 自分の考えや思いを発表することができる。	①人の話を考えながら正しく聴くことができ、目的に応じた的確に読むことができる。 ②自分の考えを根拠をもちながら、筋道を立てて表現することができる。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは得意」と答える児童の割合が70%以上。			
課題 学習の基本となる聴く力、課題解決のために必要な情報や知識・技能を選択し活用する力に課題がある。他者の意見を聴いたり、自分の考えを筋道をたてて説明したりする力に課題がある。	①学級の課題に応じた研究授業を実施する。 ②ホワイトボードを活用し、グループや全体のなかで考えを交換し、まとめる機会を意図的に設ける。	①研究授業を1人1回以上(そのうち低・中・高で大研1回ずつ) ②1日1回は様々な教科でグループ活動を取り入れ、自分の思いや考えを表現し合いそれをまとめる活動を行う。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 与えられた課題や方法・手順がわかる学習には真面目に取り組むことができる。	①「家庭学習の手引き」を活用して、主体的に学習に取り組む。	①「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」や「国語や算数の勉強が好き」と答える児童の割合を80%以上。			
課題 自ら課題を見つけ取り組んだり、広げたりする意欲に課題が見られる。基本的な生活習慣が十分に身につけていない児童がいる。	①「分かる」授業の確立をめざして、全学年で共通した「学習の流れ」を活用する。 ②家庭学習・生活リズムチェックカードを通して、意識の向上を図る。	①「学習の流れ」を活用し、全学年で毎時間取り組む。また、ICTを積極的に活用する。 ②チェックを年間2回行う。		評価	次年度における改善事項

平成31年度 学力向上ロードマップ

